

ました。試合後はみんなでグラウンドにトンボをかけ13時過ぎにお開きとなりました。

(昭50卒 川井立夫)



弓道部（弓友会）

朝日高弓道部の「創部60周年記念パーティーが」8月14日（木）、岡山市のオークホテル岡山で開催されました。卒業生と現役部員55人が出席。記念の安土幕贈呈や、OBから寄せられた写真の思い出ムービーを放映しました。おもちゃの弓で扇的を狙う「ミニ弓道大会」では、高校時代に返ったように

会場は大いに盛り上がりしました。（平14卒 徳山陽介）



予想以上に白熱したミニ弓道大会

二九会（昭和29年卒）卒業60周年記念

講演とピアノコンサート



二九会（昭和29年卒）の皆さんが卒業60周年記念行事として、平成26年6月25日に「講演とピアノコンサートの会」を開催しました。

当日、会場の岡山シンフォニーホールに、母校の全在校生、先生方、保護者など1900人を招待し、「知と感動」をテーマにJT生命誌研究館館長の中村桂子氏の講演と、世界的ピアニストの中村紘子氏によるトーク＆ピアノコンサートが開催されました。

中村桂子氏による講演は、「知と感動：生命誌—小さな生き物たちに学ぶ」という演題で行われ、「世の中に『?』と『!』と両方あればほかには何もいない」という、詩人まどみちお氏の言葉を引用されながら、「知」で大切なものは知識ではなく、自分でふしぎを見つけ出し、考え、新しいことを探し出すことが「知」であると

述べられました。そして、ふしぎを見つけ出せる場所は自然であり、人間は生きものの一つであるので、生きものを知ることは自分を知ることにつながること、地球上の数千万種存在すると言われる多様な生きものを研究することによって、人間が学ぶべきことが見出され、ひとりひとりのかけがえのなさに気づくことができると話されました。生徒の皆さんの知的好奇心を喚起すると同時に、聴衆の方々に大きな感銘を与えました。

講演後の生徒からの質問にも、分かりやすく丁寧に答えてくださり、その凛としたたたずまいに「知」と教養の奥深さが感じられました。

中村紘子氏の演奏会では、平和や命の大切さを話された後、リストの「ウィーンの夜会第6番」をはじめとして、繊細かつ躍動的な



JT生命誌研究館館長
中村桂子氏



ピアニスト
中村紘子氏

ピアノ独奏が繰り広げられ、デビュー55周年を迎えられて益々円熟の境地に到達された感動的な演奏に、大きな拍手がいつまでも鳴り止みませんでした。

また、この会の進行には生徒の皆さんがマイク係、放送案内、講師への質問や花束贈呈など積極的に参加しました。

（朝日高校教諭

佐藤敦子 昭50卒）

